

# 管工事マン

～一本の管が、建物と街を動かす～

本名：配管 流志（はいかん りゅうじ）#9

出身地：広島県呉市（造船と鉄、海と巨大配管の街）

瀬戸内海に面した港町・呉。

巨大な船が生まれ、修理され、再び海へ出ていくこの街で、流志は金属の音と海の匂いに囲まれて育った。父は造船所下請けの管工事職人。船の中を走る給水管、排水管、冷却管、燃料管、一本でも狂えば船は動かない。

「見えん所ほど、正確にやれ」そう言われ、幼い流志は、船体の奥深く、狭く暗い配管ルートを覗き込む背中を見て育った。やがて自らも現場へ。

高温、塩害、振動、限られたスペース。住宅配管とは次元の違う環境で、寸法・角度・締め付けの一つ一つが命取りになる世界を叩き込まれる。

今では船で鍛えた技術で、工場、ビル、インフラ設備等、建設業界へ。造船で鍛えた技術は超一流。数々の現場で多くの配管を納めてきた。

流志は今も見えない場所で、確実に流れを守っている。

確実に流れを守る男——それが管工事マンである。

